

小西製薬株式会社

この添付文書はご使用前に必ずお読みください。 また、必要時に読めるよう保管しておいてください。

漢方製剤 第2類医薬品

花扇三黄丸 (はなおうぎ さんおうがん)

花扇三黄丸は漢方の伝統的な処方に基づいて生薬をそのまま粉末にして丸剤にしたものです。漢方の古典「金匱要略」(きんきょうりやく)には三黄瀉心湯(さんおうしゃしんとう)という名前でご記載しております。

使用上の注意

定められた用法・用量をお守りください

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を使用しないで下さい。・・・他の下剤
2. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けて下さい。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
 - (4) 高齢者。
 - (5) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
 - (6) だらだら出血が長引いている人。
 - (7) 今まで薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
2. 服用後、次の症状が現れた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合には、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
** 間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする
** 肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。・・・軟便・下痢
4. 1 か月位（鼻血に服用する場合には5～6回、痔出血、便秘に服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくなる場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

成分および分量

本剤は茶色～こげ茶色の丸剤で、1日量45丸（約4.5g）中に次の成分を含有しています。

ダイオウ0.8g、オウゴン0.8g、オウレン 0.8g

添加物：トウモロコシデンプン、ハチミツ、薬用炭、セラック

効能・効果

比較的体力があり、のぼせ気味で、顔面紅潮し、精神不安で、便秘の傾向のあるものの次の諸症：

高血圧の随伴症状（のぼせ、肩こり、耳鳴り、頭重、不眠、不安）、鼻血、痔出血、便秘、更年期障害、血の道症

（血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神症状やいらだちなどの精神神経症状及び身体症状のこと）

用法・用量

大人（15歳以上）は1回15丸（約1.5g）を1日3回食前または食間に服用します。（食間とは・・・食後2～3時間を指します。）

保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4) 開封後は、しっかりと封をして保管してください。

<お問い合わせ先> 小西製薬株式会社 お客様相談窓口
〒579-8012 大阪府東大阪市上石切町 2-33-11
電話番号 072-981-2429
受付時間 月～金曜日 9:00～17:00（祝日、年末年始を除く）

製造販売元 **小西製薬株式会社**
〒579-8012 大阪府東大阪市上石切町 2-33-11